

度に市役所や総合体育館をはじめとする10箇所の公共施設に、また19年度には6月までに小中学校27校に設置しました。そのほか、県の施設・消防関係・医療機関・民間のスポーツ施設や老人福祉施設など69箇所に設置されています。今後は、さらなる設置の推進と設置してある場所の周知をしていくとの回答いただきました。また、市民がひろく使用できるようにするための講習会も積極的に開催するとのことでした。



写真↑ 市役所1階 総合案内所に設置されているAED

次に、「交通安全」の問題です。ここ数年、件数774・負傷者975・死者4でそれぞれ減少傾向にあるとはいえ、依然として高いレベルにあります。しかも、事故発生状況を見ると子どもと高齢者の負傷者は増えています。従来からの地道な交通安全教育活動が実を結びつつありますが、さらに地域ぐるみで子どもやお年寄りを事故から守る取り組みが必要と思われる。

「自殺問題」について、現状は全国で平成10年以降3万人を上回る推移をしており、交通事故死者よりも4倍近くとなっております。鴻巣市においても、平成17年には30名で県平均を上回っています。平成18年6月に国会にて「自殺対策基本法」が制定されて、10月28日に施行されました。けれども、市民に一番身近な市政での取り組みは十分ではないと考えられ、市からも新たに制定された法の基本理

念に基づき新たな施策についても検討していくとの回答をいただきました。

「駅前再開発商業ビルの核店舗について」核店舗としての食品スーパーが何になるのかという問いに対し、「いなげや」の出店が決まったとの回答を得ました。

次に、鴻巣の歴史とともに街の自治と文化を形成してきた商店街への市の認識と施策について質問をしました。近年の商業環境の変化に伴い、さまざまな理由から店の撤退・空き店舗の発生が目立ち、空洞化の傾向にありますが、少子高齢化を迎える今日において、従来の既存商店街はお年寄りにとっては心地良い空間となっているということを認めたい。今後においては、地元商店街と市民が協力し合って、商工会や商店会連合会などの各機関との連携を保ちながら、「コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり、個性的で美しい街づくり」を基本理念に市としても支援していくことが回答されました。



議会あれこれ

<<市議会の運営のしかた>>

議会の進め方はどうなっているのか？何をどのように決めていくのか？知らないこと・わからないことがたくさんありました。議会の仕組みについて、私の体験をもとにお話しします。

★議会運営委員会

まず、議会が始まる前に議会運営委員会が開かれ、日程や議事の進め方について決定されます。